

第3回 石木ダムの技術的な疑問等に対する説明会【議事概要】

○日 時：令和7年8月23日（土）13：00 ～ 16：00

○場 所：川棚町公会堂（川棚町中組郷1506）

○参加者：

県15名（土木部：部長、次長、河川課長ほか）

市民による石木ダム再評価監視委員会（市民委員会）5名

傍聴者：約150名

【主な質問と回答】

＜費用対効果＞

○河川改修が進んだ現況を前提に、費用対効果分析を見直す必要があるのでは。
⇒ダム事業と河川事業を一連の事業として評価しているため、事業開始当初の昭和50年当時の河道により、想定氾濫区域や便益を算定している。

＜地 質＞

○大蘇ダム（熊本県にある農水省所管の農業用ダム）で、漏水により水がたまらない状況が続いており、石木ダムでも、同様にダム貯水池から漏水の恐れがあるのではないかと。

⇒石木ダムと大蘇ダムは地形条件や地質条件が大きく異なることから参考にはなりません。ただし、石木ダム予定地周辺の地形や地質調査の結果から、ダム貯水池から漏水の恐れはないと判断している。

【会場の様子】

